

# Logosease 陸上機

## LGS-SS001



山形カシオ株式会社

この度は陸上機「LGS-SS001」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。  
ご使用中の不明な点や不具合が生じた時にお役に立ちます。

ユーザー登録をおすすめしています。下記URLから「マイページ」にお進みください。  
登録していただくと、製品に関するお得な情報が提供されます。

<http://logosease.yamagata-casio.co.jp>

## 目次

---

1. 使用上のご注意
  2. 本機の特徴
  3. 本機の外観/各部の名称・同梱品一覧
  4. アンテナ取付方法
  5. 電源ONと電源OFF
  6. 受信について
  7. 送信について
  8. サイン波送信について
  9. 使用後のメンテナンス方法
  10. 充電方法
  11. 内蔵充電電池の取り扱いについて
  12. 故障かな?と思ったら
  13. 製品仕様
-

## 1. 使用上のご注意

- ・ 本機は、水中での安全を保証するものではありません。
- ・ 通話が途絶えると危険に陥る状況下での使用はご遠慮下さい。また緊急連絡を主な用途としてご使用しないで下さい。
- ・ 本機を分解・改造しないでください。
- ・ 異常状態で使用しないでください。発熱・煙が出ている・異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ 車内等の直射日光があたる高温の場所に放置しないでください。
- ・ 充電を行うときは、よく水分を拭き取ってから行ってください。USBコネクタに水滴が付着しますとUSBに接続してあるPCなどの機器が壊れる可能性もあります。
- ・ 通電中の本機を暖房器具の近くに置かないでください。内部の温度が上がり、火災、やけど、故障の恐れがあります。
- ・ アンテナのケーブルを強く引っ張らないで下さい。ケーブルが断線したり、本機のコネクタが壊れる可能性もあります。
- ・ 本機の防水性能は生活防水になります。水中に沈めたり、大量の水をかけたりすることは故障の原因となるため、おやめ下さい。
- ・ 本機を落下させたり、衝撃を与えないで下さい。故障の原因となります。

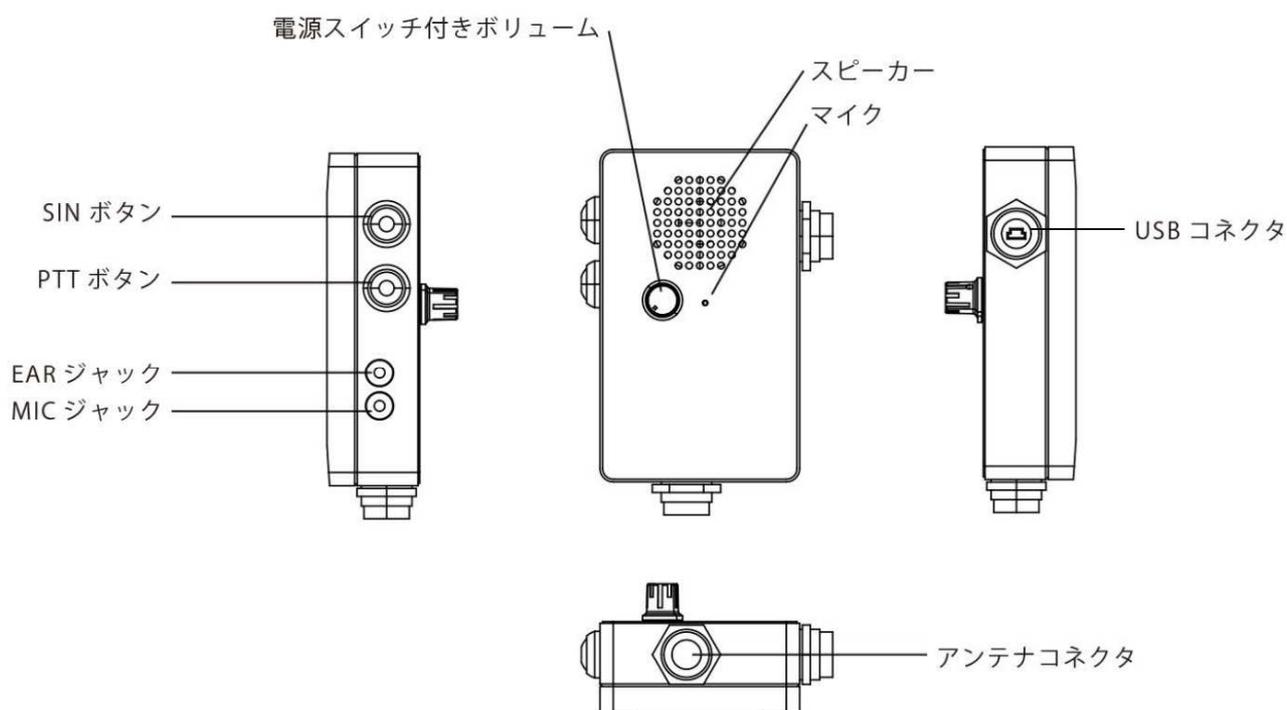
## 2. 本機の特徴

- ・ 本機のアンテナを水中に入れて陸上から水中用Logoseaseと会話できます。
- ・ 本機は、トランシーバーと同じように会話できます。PTTボタンを押している間は、送信状態になり、ボタンを放すと受信状態になります。電話のように送信と受信を同時にすることは出来ません。
- ・ 本機から送信すると、同じチャンネルであれば全ての水中用Logoseaseが受信できます。また水中用Logoseaseが複数台が送信すると、混じり合った声に聞こえます。
- ・ サイン波送信ボタンを備えており、水中のダイバーに注意を喚起したり、あらかじめ決められた合図を送ることが出来ます。
- ・ 送受信は超音波を使っています。本機のアンテナは無指向性に近い特性ですが、水中用Logoseaseには指向性があります。本機のアンテナと水中用Logoseaseのアンテナが向き合っている時が、お互いの声が大きく聞こえます。また、距離が近いほど声が大きく聞こえ遠くなると小さく聞こえ、マイクに近いほど、そして大きく話すほど遠くまで届きます。

- ・ 本機は生活防水となっております。※EARジャックおよびMICジャックは専用キャップか、ジャックを奥まで差した状態でなければ防水なりません。

### 3. 本機の外観/各部の名称・同梱品一覧

#### ■本機外観／各部の名称



#### ・ SINボタン

ボタンを押している間、サイン波を水中に送信します。本機のスピーカーからも送信しているサイン波の音が鳴ります。

#### ・ PTTボタン

ボタンを押している間、マイクからの音声を水中に送信します。

#### ・ EARジャック

外部スピーカー端子です。本機で外部スピーカーのボリューム調整ができませんので、外部スピーカーはボリューム調整付をお選びください。あらかじめ生活防水を保つための専用キャップが差し込まれています。ジャックを使わない時は、必ず専用キャップを奥まで差し込んでください。

#### ・ MICジャック

外部マイク端子です。あらかじめ生活防水を保つための専用キャップが差し込まれています。ジャックを使わない時は、必ず専用キャップを奥まで差し込んでください。

## ・ 電源スイッチ付きボリューム

右に回すと電源がONします。内蔵スピーカーの音量も調整できます。このボリュームで、外部スピーカーのボリュームは調整できません。

## ・ スピーカー

内蔵スピーカーになります。

## ・ マイク

内蔵マイクになります。

## ・ USBコネクタ

min-BタイプのUSBコネクタになります。USBによる充電が可能です。キャップを締めた状態で防水性能を保つことが可能になります。

## ・ アンテナコネクタ

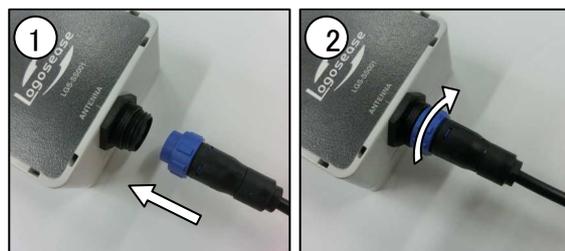
付属の陸上機用アンテナを接続します。コネクタを取付けた状態で防水性能を保つことが可能になります。

## ■ 同梱品

- ・ 陸上機用アンテナ 1本（ケーブル長:標準品10m）
- ・ USBケーブル 1本
- ・ 専用キャップ 2個（製品のジャック孔に挿入）

## 4. アンテナ取付方法

- ・ 付属の陸上機用アンテナのコネクタをアンテナコネクタに接続し、コネクタの青い外周部を回しロックします。



## 5. 電源ONと電源OFF

電源スイッチ付ボリュームを右に回すと電源が入り、LEDが点灯します。そのままボリュームを回すことで音量を調整することができます。電源ON直後の2秒間は電池残量表示になります。

- |  |   |     |                      |
|--|---|-----|----------------------|
| <span style="background-color: green; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">緑</span> | ○ | ... | 電池残量は十分です。           |
| <span style="background-color: blue; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">青</span>  | △ | ... | 電池残量が減っています。         |
| <span style="background-color: red; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">赤</span>   | × | ... | 電池残量が無くなるので充電してください。 |

電源スイッチ付ボリュームを左に回すと電源OFFになり、約2秒後にLEDが消灯します。ボリュームのスイッチが「カチッ」という手前でも電源OFFしますが、電源OFFする場合は、「カチッ」というところまで回してください。

## 6. 受信について

電源ON直後から2秒間は電池残量を表示し、その1秒後に自動的に受信モードになります。受信時は音声が入るまで無音状態です。誰かが送信すると、スピーカーから音声が出力されます。受信モードでは、LED部が黄色で1秒周期で点滅します。

## 7. 送信について

送信開始はPTTボタンを押すと自身のスピーカーから「ピ・ボツ」という音が聞こえて送信モードになります。この時、LED部がピンク色で点灯します。押している間にマイクに向かって話してください。PTTボタンを離すと「ピ・ボボボツ」という音が聞こえ受信モードに切り替ります。

## 8. サイン波送信について

SINボタンを押している間「ピー」と言う音を送信します。ダイバーに注意を喚起したり、「ピーピーピー」等あらかじめ決めた合図を送ることが出来ます。送信中は本機のスピーカーからも同様の音が聞こえます。

## 9. 使用後のメンテナンス方法

ご使用後、陸上機用アンテナを真水で洗い乾燥させてください。陸上機用アンテナのコネクタはロック状態で防水となります。コネクタの中に水が入らないようにしてください。本体は水分を含ませた布をかたく絞って汚れを拭き取ってください。水没させたり、大量の水をかけたりしないでください。特に、EARジャック、MICジャック部はお気をつけ下さい。

## 10. 充電方法

本機はリチウムイオンバッテリーを内蔵しており、USBによる充電が可能です。電源をOFFした状態で、付属のUSBケーブルをUSBコネクタに差し、PCや市販のUSB充電器（出力電流500mA以上）を使って充電してください。

充電中は赤のLEDが点灯します。充電完了で、赤のLEDが消灯します。USBコネクタのキャップは防水性能を保つため、充電後に必ず締めてください。

## 11. 内蔵充電電池の取り扱いについて

内蔵電池を長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

- 初めてお使いのときや、長時間使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。残量が少なくなってから充電してください。

- 0～40℃の温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。また範囲外での充電は電池の劣化や故障の原因になります。
- 低温環境でのご使用は、内蔵充電電池の容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。
- 長期間保管をする場合は、内蔵電池が満充電、もしくは使いきった状態で保管しないでください。また長期間充電されない状態が続くと、完全に放電してしまい、充電できなくなる恐れがあります。半年に1回程度は充電するようにしてください。
- 内蔵充電電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に満充電状態での高温保存(使用)は、短期間での劣化を招くことがあります。
- 充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので内蔵充電電池の交換となります。販売店にご相談ください。(内蔵充電電池の交換は有料です。)
- 内蔵バッテリーは、リサイクルできます。製品を廃棄する際、内蔵バッテリーの取り外しはお客様自身では行わず、「山形カシオ マリンシステム部」までご相談下さい。回収費用は弊社が負担いたします。

## 12. 故障かな？と思ったら

- ・ **充電しても本体の電源が入らない。もしくは、すぐに電源が切れる。**
  - 販売店にご相談ください。長期間ご使用頂いた場合は、内蔵充電電池の寿命の可能性が  
あります。内蔵充電電池はメーカー交換となります。
- ・ **本機から送信できない。**
  - MICジャックに専用キャップ以外のものが差してありませんか。専用キャップでない場合、  
内蔵マイクが機能しない恐れがあります。
- ・ **本機からの声が水中側でよく聞こえない。**
  - アンテナが岩陰や海草などの遮蔽物に隠れたり、船体のすぐ近くや浅瀬などの波が当た  
って気泡が多く発生するところ、流れの速いところにあると、超音波がうまく届かない場合  
があります。これは故障ではありません。また、外部マイクの感度が低いと出力が小さく  
なります。その場合、外部マイクの近くで話してみてください。
- ・ **水中からの声がよく聞こえない。**
  - ボリュームを調整してください。右に回すと音量が大きくなります。また、陸上機のアンテナ  
は水中用Logoseaseよりも出力が大きいため水中側で聞こえていても、水中からの声は  
陸上側に届かないことがあります。その場合、水中側は陸上機のアンテナに近づいて話し  
てください。また、水中用Logoseaseは指向性があるので陸上機用アンテナの方向を向い  
て話すことで陸上機に声を大きく伝えることができます。

### 13. 製品仕様

外装	サイズ	75mm × 125mm × 35mm
	重量	約285g
	防水	生活防水
	使用温度	0～40℃
音響部	マイク	コンデンサマイク
	スピーカー	ダイナミック型スピーカー
通信部	チャンネル	1ch
	周波数	[超音波] 32KHz SSB-AM方式 USB [帯域] 4KHz ※日本国内での超音波水中利用の法的規制はありません。
	アンテナ	円筒形セラミック圧電素子 ※ケーブル長さ 10m
	実質通信距離	最大150m ※透明度の良い、静かな海で陸上機とLogoseaseが対向した場合
	指向性	アンテナ円筒外周方向の指向性は無いが垂直方向あり
表示部	LED	充電中に点灯(赤)/充電完了したら消灯 各モードで色/点灯パターン変更
操作部	電源	電源スイッチ付きボリューム
	PTT	押しボタン(PTTボタン)
	サイン波	押しボタン(SINボタン)
	外部端子	MICジャック(φ3.5mmジャック 適合インピーダンス 2.2kΩ以下) EARジャック(φ3.5mmジャック/ステレオ 適合インピーダンス 16Ω/32Ω)
USB	バッテリー充電	500mA充電で約6時間
バッテリー	定格	Li-ion バッテリー 2210mA
	充電方式	USB充電方式
	持続時間	約12時間 ※内10%が送信の場合
	保守	Li-ion バッテリーはメーカー交換
付属品	USBケーブル	

#### 使用イメージ

